

かけがわし 掛川市バイオマス産業都市構想の概要

静岡県掛川市、人口 約11.8万人、面積 約2.7万ha

構想の概要

報徳思想（報徳訓）、生涯学習、協働のまちづくりのもと、多くの市民が参加・参画できる木質バイオマスの循環システムを構築して、美しい森林の復活、新たな産業と雇用の創出を図り、市民が身近に木遣いし、自立したしなやかな街づくりを目指す

1. 将来像

- ① 地域のバイオマス資源を活用した新たな産業を創出し、地域の活性化と雇用の創出に結び付ける。
- ② 市民一人ひとりが、自らの生活に必要なものの量を知り、無駄なく大切に使うとともに、自ら生産することの重要性を理解し、地産地消、環境保全活動の充実に結び付ける。
- ③ 他のひとのために、将来の世代のために、森林保全活動や化石資源から地域資源への転換に取り組む。

3. 目標(10年後)

- ① バイオマス利用目標
・間伐材・林地残材64%(39%)、し尿処理汚泥59%(18%)
- ② 再生可能エネルギーによる発電(241万kWh)
- ③ 温室効果ガス排出量削減目標(5411t-CO₂/年)

5. 実施体制

- ・市、森林組合、消費者組合、JAを含め関連機関等で構成する「掛川市バイオマス産業都市構想推進協議会」を発足させ、構想の推進を図る。
- ・プロジェクトチームとして「木の駅構想」「木質バイオマス広域連携」、「紙おむつリサイクル事業推進チーム」を設置。

2. 事業化プロジェクト

- ① 木質燃料生産プロジェクト
・バイオガス化発電をスマートコミュニティ街区の基幹電源や植物工場等に利用
- ② 小規模バイオマスガス化発電導入プロジェクト
・市営温泉施設や市内リゾート施設にバイオマスボイラーを導入。
- ③ 鶏糞堆肥製造プロジェクト
・バイオマスボイラーを導入し、鶏糞堆肥を造粒乾燥し高機能化
- ④ 紙おむつリサイクルプロジェクト
・使用済み紙おむつを回収しパルプにリサイクルして、再生紙おむつの市内循環を推進。未利用間伐材はパルプ原料に利用

4. 地域波及効果

- ① 木質燃料売上5495万円/年の増加による経済波及効果は1億円(総務省産業連関表分析シートで試算)
- ② 導入したバイオマスボイラーは「見せる」工夫を整備し、視察者が増大し市内の観光業が活性化

6. その他

掛川市第2次総合計画(H27)、掛川市地域創生総合戦略(H27)、掛川市環境基本計画(H27)、掛川市地球温暖化対策実行計画(H24)

掛川市バイオマス産業都市構想

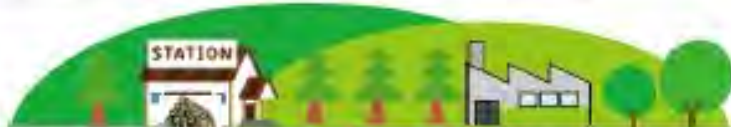
市民協働
生涯学習
報徳思想



バイオマス
活用プロジェクト



市民が身近に木遣いするまち かけがわ



《木の駅事業》
多くの市民等が森林保全
や木材生産(木遣い)に
関わる仕組みづくり

プロジェクト1
木質バイオマス
燃料生産事業

《広域連携》
近隣市町(組合)と連
携した効率的な未利用
間伐材利用体系づくり

市民・NPO・林業家
が協働した林地残材
の搬出と森林保全、
林業収入の多様化

市民・自治会・美化
ボランティア等によ
る選定枝回収と有効
利用

掛川市
まちづくり
の理念

【市民協働】
情報共有
参画・協働

【生涯学習】
充実した人生づくり
市民連帯の都市づくり
風格ある都市づくり

【報徳思想】
「百錬」「勤王」「分産」「協働」
経済と連帯の両立
上下三代を尊びた持続可能な社会



現在取り組んでいる
ごみ減量、資源化物
分別回収等の更なる
発展

紙おむつ

バイオマス燃料

プロジェクト2

スマートコミュニティ街区における
小規模バイオマスガス化発電プロジェクト
→小規模分散型電源としての
小型木質バイオマスガス化発電の普及

プロジェクト3

リゾート施設再整備プロジェクト

プロジェクト4

ならここの里再整備プロジェクト

→公共施設・福祉施設・温浴施設等への
木質ボイラーの普及
家庭へのペレットファンヒーター等の普及

プロジェクト5

造粒乾燥堆肥製造プロジェクト

→家畜排泄物、し尿処理汚泥等の堆肥化
と利用推進

プロジェクト6

紙おむつリサイクルプロジェクト
(紙おむつto紙おむつ事業)

→民間でのリサイクル技術開発、産業創出
市民のリサイクル意識向上

目指すべき
将来像

- ◆地域資源を活用して地域で循環する産業を生み出すまち
- ◆木の駅に12万市民が集い、協働して森林に関わるまち
- ◆美しく風格ある山林をもつまち